

「(施設名)」水害時の避難確保計画

コメントの追加 [障がい福祉課1]: 共通: 黄色マーカーの箇所を記入してください。

1 目的

この計画は、水防法第15条の3第1項に基づくものであり、「(施設名)」の利用者の水害時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

2 適用範囲

この計画は、「(施設名)」に勤務又は利用する全ての者に適用するものとする。

3 防災体制

(統括管理者) (管理者)		
情報収集伝達要員	担当者	役割
	班長 (生活指導員) 班員 (2) 名 ・生活支援員 ・生活支援員	<input type="checkbox"/> 自衛水防活動の指揮統制、状況把握、情報内容の記録 <input type="checkbox"/> 洪水予報等の情報収集 <input type="checkbox"/> 館内放送等による避難の呼びかけ <input type="checkbox"/> 関係者及び関係機関との連絡
避難誘導要員	担当者	役割
	班長 (サービス管理責任者) 班員 (2) 名 ・生活支援員 ・生活支援員	<input type="checkbox"/> 危険箇所の確認・明示 <input type="checkbox"/> 避難誘導の実施 <input type="checkbox"/> 使用する資機材の準備・運搬 <input type="checkbox"/> 未避難者及び要救助者の確認

コメントの追加 [障がい福祉課2]: 「統括管理者・情報収集伝達要員・避難誘導要員」は氏名でなく、職名を記入してください。
 情報収集伝達要員および避難誘導要員については3名以上を推奨します。

4 防災体制確立の判断時期、活動内容及び対応要員

【洪水の場合】

	体制確立の判断時期	活動内容	対応要員	
注意体制	以下のいずれかに該当する場合 □洪水注意報発表 □揖斐川（万石地点） 氾濫注意水位（4.00m） □杭瀬川（赤坂大橋地点） 氾濫注意水位（1.90m） □杭瀬川（塩田橋上流地点） 氾濫注意水位（5.10m） □杭瀬川（塩田橋下流地点） 氾濫注意水位（5.10m） □杭瀬川（高瀬地点） 氾濫注意水位（6.50m）	洪水予報等の情報収集	情報収集伝達要員	
	警戒体制	以下のいずれかに該当する場合 □警戒レベル3 高齢者等避難の発令 □洪水警報発表 □揖斐川（万石地点） 避難判断水位（5.80m） □杭瀬川（赤坂大橋地点） 避難判断水位（2.30m） □杭瀬川（塩田橋上流地点） 避難判断水位（6.40m） □杭瀬川（塩田橋下流地点） 避難判断水位（7.70m） □杭瀬川（高瀬地点） 避難判断水位（8.60m）	洪水予報等の情報収集	情報収集伝達要員
		使用する資機材の準備	避難誘導要員	
		家族等への事前連絡	情報収集伝達要員	
		自治会等の周辺住民への事前協力依頼	情報収集伝達要員	
		施設利用者等の避難誘導	避難誘導要員	

コメントの追加 [障がい福祉課3]: 「別表一覧表「各河川における水位観測所と水位」を参照の上、影響を及ぼす河川について記入してください。
参考: <https://kikenmap.gifugis.jp/>

非常体制	以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 警戒レベル4 避難指示の発令 <input type="checkbox"/> 洪水警報発表 <input type="checkbox"/> 揖斐川（万石地点） 氾濫危険水位（6.40m） <input type="checkbox"/> 杭瀬川（赤坂大橋地点） 氾濫危険水位（2.50m） <input type="checkbox"/> 杭瀬川（塩田橋上流地点） 氾濫危険水位（7.10m） <input type="checkbox"/> 杭瀬川（塩田橋下流地点） 氾濫危険水位（7.90m） <input type="checkbox"/> 杭瀬川（高瀬地点） 氾濫危険水位（8.90m）	施設内全体の避難誘導	避難誘導要員
------	---	------------	--------

【内水の場合】

	体制確立の判断時期	活動内容	対応要員
注意体制	以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 大雨又は台風に関する気象情報発表 <input type="checkbox"/> 大雨注意報発表	気象情報等の情報収集	情報収集伝達要員
警戒体制	以下のいずれかに該当する場合 <input type="checkbox"/> 大雨警報発表 <input type="checkbox"/> 必要があれば、自主避難の判断基準として、近隣の用排水路などで警戒しなければならぬ水位を記入 例：(園舎東側水路) 水位 (高さ〇〇cm 下) 等	洪水予報等の情報収集	情報収集伝達要員
		使用する資機材の準備	避難誘導要員
		家族等への事前連絡	情報収集伝達要員
		自治会等の周辺住民への事前協力依頼	情報収集伝達要員
		施設利用者等の避難誘導	避難誘導要員

コメントの追加 [障がい福祉課4]: 事業所所在地近くの内水の水位を確認してください。浸水箇所は市ホームページ内の「内水ハザードマップ」をご確認ください。

コメントの追加 [障がい福祉課5]: 記載されている情報収集方法は例です。事業所により収集手段を適宜、追加・削除等してください。

5 情報収集及び伝達

(1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

収集する情報	収集方法
気象情報	<input type="checkbox"/> テレビ・ラジオ・インターネット（情報提供機関のウェブサイト） <input type="checkbox"/> ぎふ川と道のアラームメール <input type="checkbox"/> 防災アプリ（全国避難所ガイド） 等
洪水予報	<input type="checkbox"/> テレビ・ラジオ・インターネット（情報提供機関のウェブサイト） <input type="checkbox"/> ぎふ川と道のアラームメール

	○防災アプリ（全国避難所ガイド） ○国土交通省の緊急速報メール 等
水位到達情報	○テレビ・ラジオ・インターネット（情報提供機関のウェブサイト） ○ぎふ川と道のアラームメール ○防災アプリ（全国避難所ガイド） ○国土交通省の緊急速報メール 等
警戒レベル3 高齢者等避難 警戒レベル4 避難指示	○防災行政無線 ○テレビ・ラジオ・インターネット（情報提供機関のウェブサイト） ○防災アプリ（全国避難所ガイド） ○メール配信サービス、ツイッター、フェイスブック（大垣市の避難情報提供サービス） 等

停電時は、ラジオ・タブレット・携帯電話を活用して情報を収集するものとし、これに備えて、乾電池・バッテリー等を用意する。

提供される情報に加えて、雨の降り方、施設周辺の水路や道路の状況等、施設内から確認する。

(2) 情報伝達

「施設の職員緊急連絡網」に基づき、気象情報、洪水予報等の情報を施設内関係者で共有する。

6 避難誘導

当施設における水害時の指定避難所は、以下のとおりとする。

(○○小学校：住所)

水害時の指定避難所までの避難経路は、別紙「避難経路図」のとおりとする。

屋内における安全確保は、別紙「施設配置図」の○○室（施設内の大人数を収容できるスペース等）に垂直避難する。

浸水するおそれのある階または施設からの退出が概ね完了した時点で、未避難者を確認する。

7 避難の確保を図るための設備・資機材等の整備

情報収集・伝達及び避難誘導の際に使用する施設及び資機材は、下表「避難確保資機材等一覧」に示すとおりである。

これらの資機材等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

■避難確保資機材等一覧

活動の区分	使用する設備・資機材
情報収集・伝達	<input type="checkbox"/> テレビ・ラジオ・タブレット <input type="checkbox"/> ファックス <input type="checkbox"/> 携帯電話

コメントの追加 [障がい福祉課6]: 事業所所在地の指定避難所（小学校）を記入し、施設から指定避難所までの経路を示した「避難経路図」を添付してください。

コメントの追加 [障がい福祉課7]: 垂直避難が可能な事業所のみ記入し、不可能な事業所はこの文言は削除してください。

垂直避難が可能な事業所は、施設内の避難経路が記載された「施設配置図」を添付してください。

垂直避難ができない事業所は、指定避難所（中学校）を記入し、施設から指定避難所までの経路を示した「避難経路図」を添付してください。

コメントの追加 [障がい福祉課8]: 一覧に記載されている機材等は例です。事業所内で確保している機材等を確認していただき、適宜、追加・削除等してください。

	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話用バッテリー
避難誘導	<input type="checkbox"/> 名簿 <input type="checkbox"/> 案内旗 <input type="checkbox"/> タブレット <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯用拡声器 <input type="checkbox"/> 電池式照明器具 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> 携帯電話バッテリー <input type="checkbox"/> 施設内一時避難のための水 (1人あたり 6ℓ) <input type="checkbox"/> 食料 (1人あたり 9食分) <input type="checkbox"/> 寝具 <input type="checkbox"/> 防寒具 <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ <input type="checkbox"/> タオル
利用者向けに準備するもの	例：保育園や幼稚園などは以下のもの <input type="checkbox"/> おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき <input type="checkbox"/> おやつ <input type="checkbox"/> おんぶひも <input type="checkbox"/> 着替え <input type="checkbox"/> 常備薬
浸水防止対策	<input type="checkbox"/> 簡易土のう <input type="checkbox"/> 止水板

コメントの追加 [障がい福祉課9]: 1人あたり水 6ℓ (2ℓ×3日分) 以上、食料 9食 (3食×3日分) 以上の備蓄をお願いします。

8 防災教育及び訓練の実施

活動の区分	使用する設備・資機材
職員	毎年 4 月に新規採用の従業員を対象とした研修を実施する。 毎年 4 月に全従業員を対象として、情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する。
施設利用者等	毎年 4 月に水害を想定した避難訓練を実施する。

コメントの追加 [障がい福祉課10]: 出水期前 (～6月) の訓練を推奨します。

<外部機関等への緊急連絡先一覧>

連絡先	担当部署	電話番号	備考
市 (防災担当)	危機管理課	0584-47-7385	
市 (施設所管課)	障がい福祉課	0584-47-7162	
最寄りの消防署	大垣〇〇消防署	0584-XX-XXXX	
最寄りの警察署	大垣警察署	0584-78-0110	
最寄りの指定避難所	〇〇小学校	0584-XX-XXXX	
最寄りの医療機関	〇〇医院	0584-XX-XXXX	

※計画作成後、以下の記載要領は削除して提出してください。

(記載要領)

- 1 **黄色**の部分に入力してください。
- 2 1ページの3の防災体制として、各施設におきまして、避難確保における統括管理者、情報収集伝達要員、避難誘導要員の選任をお願いします。
- 3 2ページの4の防災体制確立の判断時期、活用内容及び対応要員として、【洪水の場合…堤防の破堤、越水などの現象を想定しています。】は、各施設におきまして、別表一覧表「地域防災計画に位置づけられた洪水時に避難等の連絡を要する施設」にて、影響を及ぼす河川をご確認いただき記入してください。また、各河川における水位観測所と水位については、対象河川にある水位観測所と水位を、別表一覧表「各河川における水位観測所と水位」にて、ご確認いただき記入してください。なお、薬師川に関しては、水位観測所や水位はありませんので、薬師川の影響を受ける施設については記入する必要はありません。
同じく、3ページの【内水の場合…河川に水が流れなくなり、近隣の用排水路において水が溢れる等の現象が発生した場合】は、各施設において、必要があれば自主避難の判断基準として、近隣の用排水路などで警戒しなければならない水位を記入してください。不明な場合は記入する必要はありません。
- 4 4ページの6の避難誘導については、別表一覧表「水害時に開設する指定避難所一覧」にて、水害時に立退避難しなければならない指定避難所を確認してください。仮に施設の近くに指定避難所（例えば、小中学校以外の避難所）があっても、原則、水害時には開設しませんので、記入することはできません。（例：ある施設で小中学校よりもA保育園、B地区センターが近くにあるとします。こうした施設は地震時には開設しますが、水害時には開設しませんので、該当する小中学校を記載していただくことになります。）
また、平屋建ての施設は、水害時に開設する指定避難所への立退避難を原則としますので、立退避難を前提とした1種類の避難誘導を検討してください。2階以上の施設は、指定避難所への立退避難の場合と、立退避難が困難な場合を想定し、2種類の避難誘導を検討してください。つまり、施設が平屋建ての場合は〇〇小学校、△△中学校への避難誘導と、指定避難所への避難経路を検討することになります。一方、施設が2階建ての場合は、〇〇小学校、△△中学校への避難誘導と避難経路の検討に加えて、各施設における安全確保として、施設内において大人数が収容できるスペースを確保し、垂直避難を行う避難誘導と、施設内における避難経路を検討することになります。
別紙として、「避難経路図」と「施設配置図」もあわせて添付してください。
- 5 4ページの7の避難の確保を図るための設備・資機材等の整備について、利用者向けに準備するものにつきましては、各施設の実状にあわせた資機材の記入をお願いします。
- 6 5ページの8の防災教育及び訓練の実施と外部機関等への緊急連絡先一覧についても、各施設の実状にあわせて記入をお願いします。